

八乙女



第35回 地区体育祭



感謝

五組監督 篠原純也

第三十五回南山見地区体育祭は、台風十七号の接近にもなった影響で、井波小学校体育館で行う運びとなりました。

競技種目に於いては、缶積みレースに始まり、百発百中、二人三脚、ボール送りレースなど十種目中七種目が雨天時の競技に変更となりました。各組が競い合う中、私達五組は、倍点種目で上位になった結果、昨年に引き続きの総合優勝という素晴らしい栄誉を手に入れました。

この結果は、ひとえに院瀬見第一、第二町内の皆様方のご協力はもちろんですが、チームワークの賜と、心から感謝致しました。

もう一つの院瀬見のチームである一組が、参位になった事もあり、大会後に行なった合同反省会は、大いに盛り上がったのは言うまでもありません。

通常の南山見公民館グラウンドで行われる体育祭とは違い室内での競技という事で、会場係、スポーツ推進委員及び大会役員の方々の御苦勞に対して、この場を借りて感謝申し上げます。

最後になりますが、今後もこのような体育祭という地域活動を通じて、いろいろな世代の交流や、南山見地区住民の親睦が図られていく事を切に願っています。

さびしさを何時おぼえしや幼子おきなこが
飴ひとつ持たて我に寄り来し

篠原とみ子

伊吹山散策

「夏の自然満喫」恒例の山歩き行事、今回は岐阜県と滋賀県の県境にある伊吹山。

一行32人のバスツアーで午前6時公民館出発。

かつて天下を二分した関ヶ原古戦場をかすめて、全長17キロの伊吹山ドライブウェイをひたすら山頂駐車場へと向かう。駐車場で集合写真を撮り、西遊歩道まわりで山頂を目指す。

途中、植物に詳しい方と一緒にになり、お花畑の花の名前を教えて頂く。各花の特徴も合わせた説明に、驚きとたたくはずりだけ。しかしもう一度訪れても花の名前を言えるかは定かではない。

満開ではないが、一部群生しているシモツケソウの鮮やかなピンク色が印象的でした。

いよいよ標高1,377メートルの山頂！伊吹山は独立峰だから、360度の視界と琵琶湖、日本海などを見下ろせる絶景を期待していたが、あいにくの曇空で視界約1,000m、ときどき雲の合間からスキー場が見えた。

高嶺の花ならぬ高嶺のビールで乾杯！昼食を頂く。

山荘横の椅子に掛けて、名前の知らない満開のクリーム色の花を眺めていると、無数の虫が飛び交っている。不気味に思っただけよく見ると、ミツバチが蜜を求めて群がっているようだ。

また山頂には、日本武尊の像が建立されていた……その昔、日本武尊が伊吹山の荒神を退治しようとしたが、



平成24年7月29日

第35回 八乙女フェスティバル

この話は後で知る。



氷雨に襲われ足を患い、断念したと言いつた……

下山は東遊歩道まわりで、目的のトリカブトを見落としたが、なじみの深いヨシナを見つけた。帰りには「伊吹薬草の里」でゆつくり薬草風呂に浸かり気分爽快。きのこ、メロンを土産に一路公民館へ。ありがとうございました。

谷田隆信

毎年恒例の八乙女フェスティバルが八月十五日に行なわれまし

た。当日は天候が不安定で、昼から

行なわれたソフトバレーの会場である井波小学校付近では局地的な激しい降雨がありました。南山見公民館では雨は降りませんが、安全を期して体育館で行なうことになりました。

会場設営では、ソフトバレーの疲れや多忙な中、時間を割いて多くの方に集まって頂き、蒸し暑い体育館の中で一致協



力して設営が進みました。提灯の中に入れる電球が、まだまだ高価なLED電球を使用していたことに時代の流れを感じました。

開始時刻になっても気温は下がらず三十度前後と蒸し暑く、体育館の室温はもつと高かったでしょう。そういった

中でも多くの参加があり体育館の中は盛況で、皆さんのフェスティバルに対する思いを強く感じました。また、今年はゆかたでの参加に特典があり、ゆかた姿が例年より多く会場の雰囲気盛り上げていました。

会場にはビールやジュースの飲物、焼き鳥、アイス、豆餅などの食べ物恒例のごとく並び、どこも盛況でした。また、ダーツゲームや輪投げゲーム、金魚すくいを子供達に混じって大人達も結構楽しんでいました。

舞台では加賀山昭社中の皆さんによる民謡、三味線、太鼓が会場一杯に響き渡り、それに合わせて自然に踊りの輪が広がりました。

フェスティバルは、各町内会で行なわれる納涼祭とはまた違った雰囲気があり、地区住民同士の絆や親睦を高めることができるこの行事は、南山見にとっては無くてはならないイベントの一つであると改めて感じました。

地区の皆さん並びに各種団体の皆さんのご協力のもと楽しい一夜を過ごすことができました。来年もこのフェスティバルを皆さんで楽しみましよう。

壮年部 山本義秀



南砺の山々を守る植樹祭 ・行灯づくり

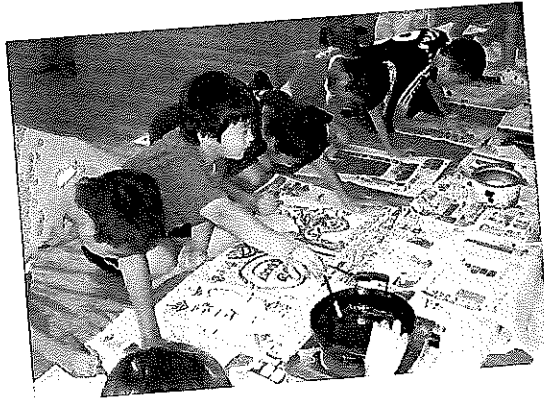


急きよ日程を変更しての開催でありました。植樹を行った場所は、旧スキー場の斜面中腹にあり、天候も良かったことから、参加者全員が汗をかきながらの作業となりました。参加した子供たちは荒れたゲレンデに苦慮しながらも植樹した木々が大きく育つよう願っていたと思います。お昼には豚汁や五平餅が振る舞われ、身も心も満足した一日となりました。

また、同月16日(土)には、公民館前花壇で花と緑の銀行の方々の指導により花を植えつけ、その後、高瀬遺跡菖蒲

6月3日(日)に旧サントラの森スキー場にて、「南砺の山々を守る植樹祭」が開催され、当地区の花と緑の少年団からも参加いたしました。

例年は4月29日に開催されておりましたが、今年には豪雪のため、



祭りで展示する行灯の作成を行いました。どちらも満足できる結果ができればよいですが……。

児童クラブ 森 達之



星の観察会

公民館親子ふれあい自然体験事業

8月12日(日)午後7時30分より、井波中央公民館(わんぱく教室)と合同で、県の天文学会会員の溝口先生による星の観察会を実施しました。当日は、雨の予報で天体の観測をあきらめておりましたが、子どもたちの日頃の行いと観察会の開催の願いが届き、みごと満天の星空の中、開催することができました。

先生に準備していただいた



た望遠鏡の中をのぞきながら、普段見ることができない星の観察ができ、子どもたちも満足していた様子です。特に土星の明るさと輪がくっきりと確認することができ、子どもたちも大人たちが大はしゃぎだったことが興味深かったです。

今年には金環日食が話題となった年です。子どもたちにとって普段あたりまえのように眺めていた星空も、望遠鏡を通して覗けば見える新しい世界に、何か感じてください。

児童クラブ 森 達之

七月二十五日、夏期恒例「三世代交流ラジオ体操の集い」が開催されました。当日は、子供達の夏休み初日に相応しく、暑い夏到来を予感させる好天となりました。八乙女山から昇る眩しい朝日に照らされたグラウンドには、平日の早朝にも拘らず、三世代に亘り百名を超える大勢の参加者が集いました。

に清々しさに満ちていました。日を変えて七月二十七日、

【教育懇談会】が開催されま

指す」という開催趣旨のもと、講師には当地区川原崎在住、現在は南砺市立福野小学校校長の碓井好彦先生をお招きしました。教育現場での長年の豊富な経験を生かし「今どきの教育事情をかんがえる」と題して、当日はプロジェクトを使い、海外視察経験談や子供の今昔比較論、親子の関わり方等幅広い内容を考察しながら分かり易く講演頂きました。

眠い目を擦りながら頑張っ
って友達と一緒に参加した子供達や、孫に手を引かれ仕方なく参加したまだ寝ぐせの残るお爺さん等が、ラジオ体操や周辺マラソンで「朝一番」の気持ちの良い汗を流し、「集い」を楽しみました。朝日に照らされた皆の表情は、一様



三世代交流 ラジオ体操の集い ・教育懇談会



その後、質疑応答において活発な意見交換もあり、お蔭で当初の懇談予定時間を大幅に超過する有意義なとなりました。

【教育懇談会】

青少年育成市民会議

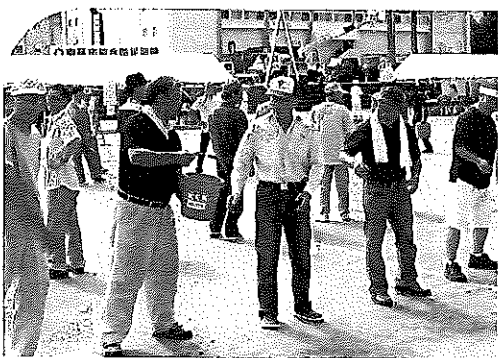
南山見単位会議 須川 大

した。『教育現場に関心を持ち、より良い青少年育成の環境づくりと、健全な地域づくりを

平成24年度

南砺市総合防災訓練

に参加して



9月2日(日)井波小学校を中心に実施され、井波地域自治振興会連絡協議会四地区が、各地区毎に避難訓練を取組む事となりました。南山見地区も町内会長さんを中心に地区民の協力を得て、町内の第一次、南山見の第二次避難安否確認訓練を実施致しました。

倒壊建物救助訓練、④避難所開設運営訓練を4班に分かれそれぞれ訓練を体験致しました。また8時15分から井波住宅密集地における火災防衛訓練とその災害各種の訓練が実施されました。

今回の防災訓練では地域の方々をはじめ多くの関係者に災害への備えの重要性を再認識していただけたものと思えます。

今後地域の「安心・安全」は「自分たちの身は自分たちで守る！ みんなで守る」という防災意識をもって努めて行きたいと考えております。

南山見自治振興会 澤田武夫

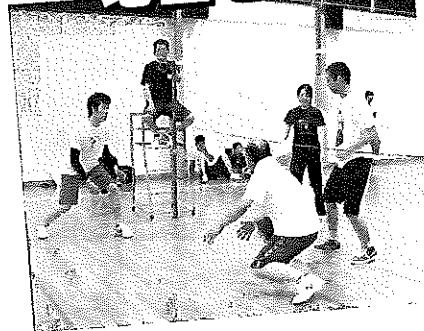
富山市婦中町より来館



9月27日、富山市婦中町速星地区より、他地区の公民館活動の視察として、当公民館に来館されました。人口や面積に違いがある為、単純な比較はできませんが、なくなった組織や活動が残っている事に驚いておられました。

7月3日より5日まで、第29回地区ビーチボール大会が開催されました。今年は10チームの参加でしたが、体育館には賑やかな声がひびき楽しい

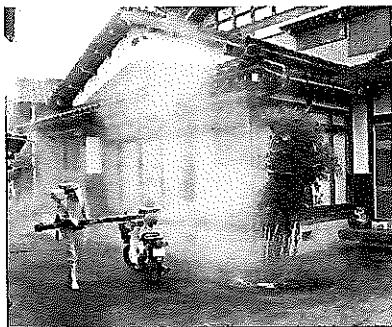
第29回地区ビーチボール大会



優勝 沖Cチーム
次勝 沖Bチーム
三位 里領Bチーム
敢闘賞 谷Bチーム

事務局

大会となりました。成績は次の通りです。

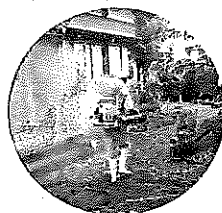


6月17日(日)に環境美化活動の一環として南山見地区全戸に害虫駆除を目的とした薬剤散布を実施しました。今年に残念ながら当初予定していた10日(日)があいにくの雨天となり一

環境美化活動

米寿 おめでとうございます

院瀬見第一 高橋豊一
院瀬見第四 山崎幸雄
戸板 松倉文子



この活動を行いました。

この環境美化活動は、成年部にとっても伝統的な活動となっておりませんが、年々減少する部員の確保が難しくなってきたり、少数精鋭で何とか今年も実施することができました。参加いただいた部員各位の協力と地域の皆様方のご理解により、将来にわたるこの活動が継続していけることを願いながら、反省会で喉を潤しました。

成年部 直江 正



全国一斉

社会奉仕の日

毎年九月二十日『全国一斉社会奉仕の日』との事。早朝より老人クラブ員・保育所父母の会の大勢の皆さんで、地域活動のふれ合いと対話の拠点である公民館周辺、保育所周辺、ゲートボール場及び農村公園等、草刈機と手鎌により、除草と清掃を行いました。雑草の生い茂っていたグラウンドが見違えるようになりました。九月三十日の地域の体育祭、十月六日の保育所の運動会も楽しく気持ちよく行なうことが出来ます。会員の皆様、大変ありがとうございました。

老人クラブ 須川俊行



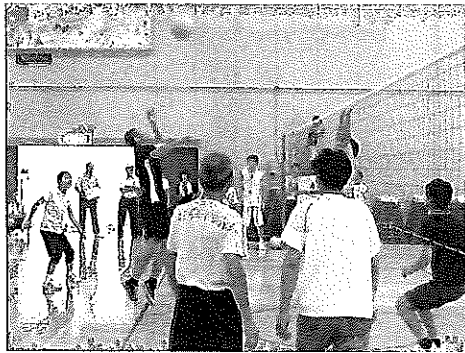
第33回 町内対抗

ソフトバレー
ボール大会

お盆恒例のソフトバレーボール大会も今回で三十三回を迎えました。今年の夏は猛暑日が続き、大会の日も大変に暑い日となりました。今回の参加チームは9チームで、5チームと4チームに分かれての予選リーグで闘いました。

暑さにも負けず白熱した試合展開で、皆さんの汗を拭いながら競技をされていました。

年々参加チームが減ってきていますが、二十代と五十代六十代と世代を超えて一緒に競技できるとてもいい大会だ



と感じております。その中でわが沖Bチームは昨年度優勝の清玄寺チームを大接戦の末破り、優勝する事が出来ました。

参加された皆様や、応援して下さった皆様、どうもありがとうございました。

沖町内会長 川縁 実

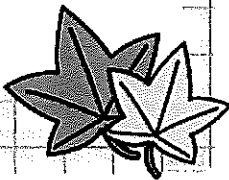
南砺市公民館まつり

第五回南砺市公民館まつりは、9月9日(日)井波総合文化センターにて開催されました。心配していた天候も大変良く、大勢のお客様で大賑わいでした。「いなみ町巡りツアー」「体験コーナー」「うまいもん大集合」など、またホールでは各地域よりの舞台出演があり、今年も見ごたえのある公民館まつりだったように思います。事務局



お知らせ

- 11月18日 第35回地区八乙女文化祭
- 12月中旬 児童クラブクリスマス集い
- 花とみどりの少年団花だんづくり
- 25年1月4日 南山見地区新年の集い



おねがい

第35回地区八乙女文化祭の舞台発表の出演者及び展示作品を募っています。参加希望の方は、お早めに事務局までご連絡お願い致します。

編集後記

記録的な酷暑の夏も過ぎ去り、秋深まる季節となりました。

八乙女フェスティバルや体育祭など、みんなで参加し親睦を深めた様々な活動を、紙面でお届けでき大変うれしく思います。原稿を担当して頂いた方々に感謝いたします。公民館活動で「魅力ある地域づくり」をめざすには、地区民の協働の精神が必要です。行事企画に関する意見などお寄せください。知恵を出し合い活動の輪を広げましょう。

(天寺山)



南山見地区

地域づくり談議

6月25日夜、当公民館において「地域づくり談議」が開かれました。この「地域づくり談議」は、市長との対話により市民と行政の協働のまちづくりを目指していくというもので、南砺市内の31地区で行われました。

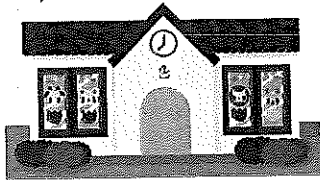
当日は、約60名の参加があり、南砺市からは田中市長のほか総務部長、建設部長など幹部職員が参加し、市政の説明に当たりました。

最初に、田中市長から「南砺市まちづくり基本条例」の概要や市の平成二十四年度予算、南砺市総合計画後期基本計画などについて詳細な説明を受け、そのあと参加者からの質疑に入りました。談議のテーマについては、保育園統合後の施設利用や道路・交通網の充実などに高い関心が集まり、活発な意見交換が行われました。質疑の内

容については以下の通りです。

Q1 南山見保育園の跡地施設利用について

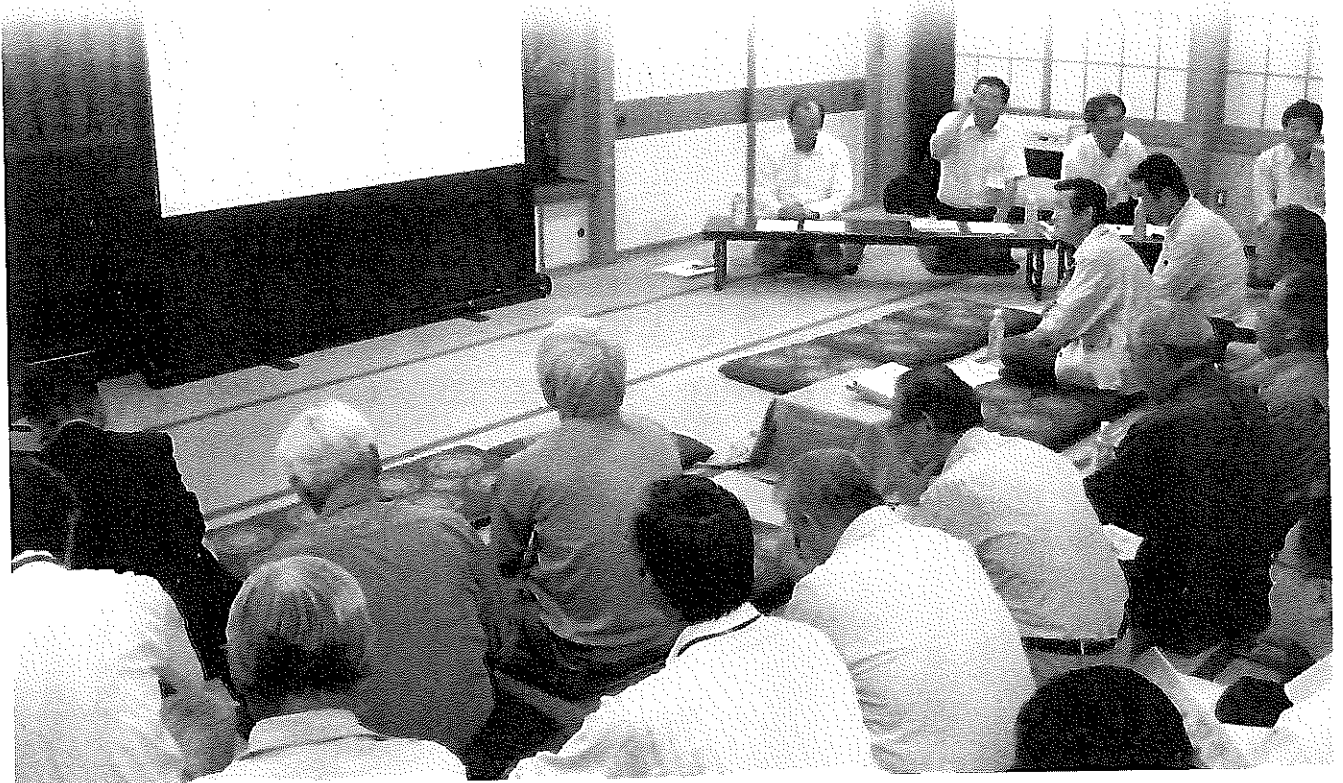
地域において有効利用の途を模索中であるが、未だに妙案が出てこない状況



である。もう少し検討する時間が欲しいが、行政として今後の利用をどう考えているのか。

●市長

地元で活用し管理していたことが第一だと考えており、時間が必要であればそれを優先したい。活用方法が決まった時点で市がどこまで関わるか協議する



ことになる。地元で利用されない場合の活用方法は、その後の検討となると思っている。

Q2 八乙女連絡道の着手状況について

合併支援道路として南砺市の前期総合計画においても位置付けられているが、未だに着手されていない状況である。早期着手を望む。

●市長

今年も七月から要望をしようと思っている。利賀ダム自体が検証の場にあることから、事業採択について検討の場を設けている。八乙女連絡道についても、まずは国・県に国道認定されるよう働きかけをして、実現に向け努力をしていきたい。

Q3 県道整備について

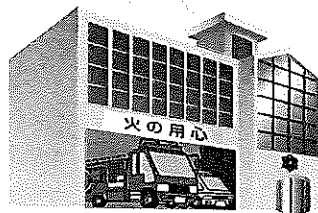
当地区内には二本の県道が通っており、観光アクセス道路としても重要な道路である。

地域活性化のためにも早期整備を望む。

●市長

両県道については順次整備を進めているが、歩道設置の要望も頂いており、これらも含め県に重点要望として引き続き早期整備に向け働きかけていく。

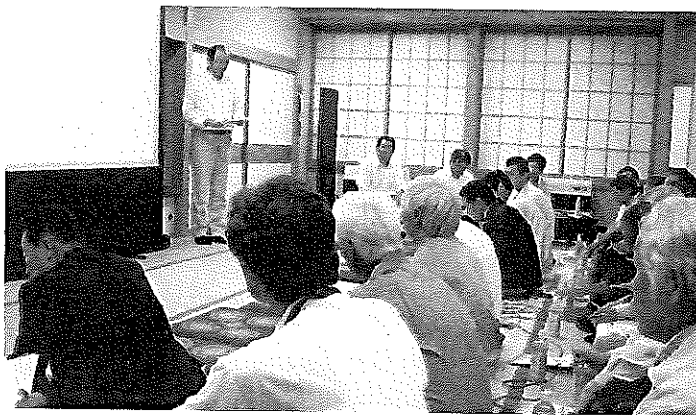
Q4 消防署再編に伴う道路整備について



高瀬地区での建設計画があるが、高瀬神社周辺については道路幅員が狭くカーブが多いなど、南山見、井口方面へのアクセスに問題がある。迅速な出動ができるよう十分な道路改良を望む。

●市長

平成二十四年度に道路五年計画を策定する。その中で、交通量が多くなった市道や消防署の再編に伴う道路の整備など四分野に分け、優先順位を付けながら道路改良も含めた整備を検討したいと考えている。道路除雪等も組み合わせながらの計画となるので、事前に皆様からのご意見も伺いたい。



Q5 赤祖父林道、不動滝周辺の崩土防止対策について

不動滝の水の愛飲者は多く、赤祖父林道を多くの車が通行しているが、春先や大雨後には落石が多発しているため、危険防止の対策を望む。

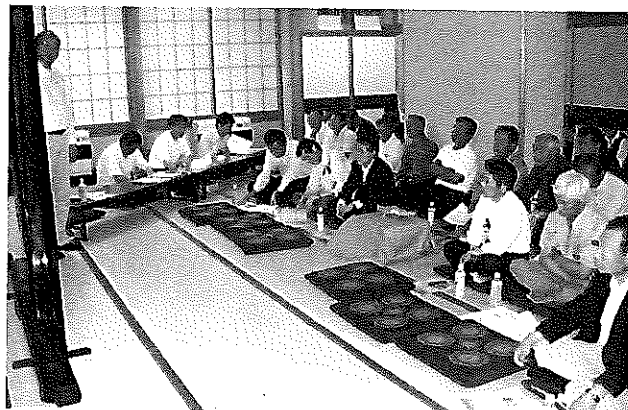
●市長

基本的には林道は林産物の運搬用として整備された道路であるが、具体的に危険箇所を調査し、通行量が多い林道として、県に相談をしながら、落石保護などの治山事業の要望もしていきたい。また、春山の除雪や崩土除去については引き続き取り組んでいく。

Q6 南砺市のアンテナショップについて

米の販売や餅などの二次加工品に取り組み、インターネ

ットを利用し販路の拡大を図っているが、南砺市のアンテナショップの情報も教えてもらいたい。



●市長

東京や名古屋に富山県のいきいき富山館などのアンテナショップなどがあるが、友好都市である武蔵野市のアンテナショップにも南砺市の物品が置いてある。そういうところをうまく利用していただければ、しっかり情報を流したい。